



SCHOOL DATA

〒297-2223 長生郡長柄町大津倉220
TEL 0475-35-2509 FAX 0475-35-5474

■児童数/53人 ■教職員数/10人 ■周辺環境/水田 畑 森林 (平成21年5月1日現在)



【環境学習アドバイザーを招いての観察会】



【ミニ水田での児童による田植え】

ビオトープの概要

- 場所/校舎敷地内
- 面積/1448㎡
- 設置者/学校
- 設置した年/2007年
- 直近の改修年/2008年
- 主な管理者/教職員



【ビオトープで見つけたイモリ】

児童・生徒等の変容

裏山のミニ水田は主に5年生が担当している。自分たちで草を取ったり、貯水の方法についていろいろなアイデアを出し合い取り組んだりしたこともあり、その分ミニ水田にとっても愛着を感じている。自分たちで育てた稲がお米になり収穫できたことを、児童全員が心より喜び収穫祭に向け計画をたてている。

昨年トウキョウサンショウウオが見られ、卵からかえる様子も見ているので、今年も少なからず教職員・児童共に期待している。

地域住民・NPO・近隣学校等との連携

ビオトープを知って頂く為に、地域の方を招いて交流を行う予定でいる。

また、おやじの会の方が裏山の整備の為に草刈りを教職員と共にいった。近隣学校との連携は行っていない。

学校ビオトープを維持・管理上の問題点

裏山のオオムラサキの里はとても広く、子どもたちや教職員、PTAだけでは、十分に管理が行き届かない。

ビオトープを管理・維持していく上で人的資源だけでなく予算が必要である。学校予算だけでは不足することが予想されるので今後もビオトープを運営していくうえで予算の確保を考える必要がある。

【ビオトープの構成】

オオムラサキの里 観察池 ミニ水田

管理・活用する上での、教職員・児童生徒の感想

裏山にあるミニ水田の水がすぐ減ってしまい、田植えをする上で大変困った。すぐ下にあるプールから水を引いていたが、毎日少しずつ減っていく水に対応していくこともままならなかった。児童がプール近くにある水道からバケツで水を汲み上げる作業を休み時間の度に行い、その場をしのぐ日々が続いていた。このままでは維持していくことが難しいと考えタンクに雨水を溜めてそれを水田に入れる工夫をした。裏山ということもあり雨が降った時は結構水をタンクに貯水することができる。この工夫により水の確保がだいぶ楽になった。



【ミニ水田の稲刈りのようす】

